

飲み合わせの副作用注意

漢方の不思議

〈4〉



伊東弘樹 (大分大学
医学部薬剤学講座教
授・薬剤部長)

今回のテーマは「薬の飲み合わせとかかりつけ薬局を知ろう」です。

されている人が多いことが分かります。

軽症の場合には、ドラッグストアで市販薬を購入する場合もあるでしょう。飲んでる薬の成分を理解しないまま、病院でもらった

さまのおくすり手帳

病院・医院・薬局 共通でお使いいただけます。



この手帳はあなたの健康を守る大切な記録です。病院・医院・薬局にご提示ください。薬の管理に役立つおくすり手帳

「かかりつけ薬局」活用を

高齢者は複数の薬を飲んでいて、多いかと思いきや、厚生労働省の調査では、70歳以上だと薬を平均6・6個服用し、10個以上服用している人も18・1%いるとの報告があります。このことは、漢方薬または西洋薬の1種類のみを服用している人は非常に少なく、内科はA医院、整形外科はBクリニックというように複数の病院を受診し、複数の診療科の医師から薬を処方

薬や市販薬と一緒に飲むことによつて、思わぬ副作用が出る場合があります。

医療機関の多くが外来で診察を受けた患者に「院外処方箋」を発行し、病院内ではなく、保険薬局(かかりつけ薬局)で薬を処方してもらいます。これを「院外処方」といい、医師と薬剤師が役割を分担し、それぞれの専門知識を十分に生かすことで、医療の質的向上を図ることができ

患者一人一人が、かかりつけ薬局を持つことで、保険薬局では患者さんの薬歴簿(薬の記録)を付け、複数の病院でもらった薬や市販薬などのチェックをして、薬の飲み合わせ以外にも、食品との飲み合わせも総合的に判断します。特に、薬の成分の重複やこれまでのアレルギー歴などの聞き取り内容を医師に伝えることで、安全性が確保さ

れます。自宅の近くや、最寄り商店街の薬局など、自分が安心して相談のできる「かかりつけ薬局」を決めると便利です。信頼できる薬剤師に何でも相談してください。今回は漢方薬の服

きます。

現在飲んでいる薬すべて(サプリメントを含む)を持参してください。漢方薬の成分の一部が入っている西洋薬もあり、重複して飲むと過量投与で副作用が起

こることもあります。薬によつては、医師の診断や検査が必要と判断される場合もあり、その際には医師の受診を勧めています。

かかりつけ薬局は、患者が自由に選ぶことができま

す。自由の近くや、最寄り商店街の薬局など、自分が安心して相談のできる「かかりつけ薬局」を決めると便利です。信頼できる薬剤師に何でも相談してください。今回は漢方薬の服

用タイミングについて話します。

(企画・監修 西田欣広

・日本東洋医学会大分県部
会会長)

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か

か